

委員会調査(研修)報告書

NO.

令和 7 年 5 月 20 日

胎内市議会議長
八 幡 元 弘 様

(報告者)
総務文教常任委員会
委員長 笥 智 也

総務文教常任委員会閉会中所管事務調査 について、
議会会議規則第 110 条により、下記のとおり報告します。

調査・研修 日 時	自 令和 7 年 5 月 12 日 至 令和 年 月 日 泊 日 (1 日間)	調査・研修 場 所	・ 全員協議会室 ・ 嘉平山 ・ 学校給食センター
調 査 ・ 研 修 事 項	気象防災アドバイザーの役割等について 生涯学習施設建設候補地（嘉平山）について 学校給食センターの現状について		
調 査 ・ 研 修 出席者(参加者)	委員長 笥智也 丸山孝博 渡辺宏行 薄田智 天木義人 小野徳重 羽田野孝子		
相手方(対応者)	総務課：須貝課長 防災対策室：井川室長 渡辺参事 気象防災アドバイザー 岩寄利勝 生涯学習課：佐久間課長 脇川主任 学校教育課：井上課長 佐藤参事 伊藤管理栄養士		

調査の結果または概要

全員協議会室にて、4月から当市に気象防災アドバイザーとして赴任された岩寄氏による災害対応への実務や役割について説明を受けた。①気象情報の読み解き、②情報のもつ誤差や不正確さの説明、③各種行動計画等の見直し、④地形特性を踏まえた情報の活用、⑤参加者がわかる説明や講演、の5つに分類された項目を映像で説明いただいたのち、警戒レベル4避難指示対応への市の考え方や今後の対応などについて委員から質問があった。

続いて、現在生涯学習施設建設候補地とされている嘉平山を現地視察した。13万㎡の広大な土地であり関沢地内の道路よりかなり山に入った場所に位置し、国道7号線は目視できない。開けているが高低差がかなりあり野生動物の存在も確認されていた。

次に、学校給食センター会議室にて、運営体制の説明を受けた後、見学スペースより調理室や和え物室、手洗い室などを視察した。給食時間を逆算した作業で温かい食事を市内9小中学校全てに配送しており、衛生管理対策や異物混入対策などについての質疑応答を行なった。その後、市ホームページにも掲載されている給食センターPR動画を視聴しながら当日の献立の給食を試食し、一食当たりの単価や食物アレルギー対応、残食の現状などの質疑応答も行った。

調査の所見・感想

気象防災アドバイザーの役割について、公式発表されるデータの見方など専門的な視点での説明であり、一般向けというより、防災室にて災害対応を考慮した上で様々な情報や対応を発信する部署と受け取った。気象情報の読解力や誤差の見極めが避難指示等発令に影響を与えることが理解できた。市民の命を守ることを最優先とした今後の活躍に期待したい。

嘉平山現地視察については、地図上で見るよりはるかに山に入る感覚が強く、併せて高台に位置しているような感じを受けた。前面道路からもかなり奥に入るため、建設後の徒歩での利用がかなり厳しいと予想される。また、幹線道路となる国道から見えない位置となることから、十二林交差点方面からのアクセスなども考慮すべきではないかという意見もあった。また、サル等の野生動物対策も必要と感じた。

給食センターについて、視察時には配送車の出発時間であったため、調理器具の洗浄や各種作業場の清掃など丁寧な作業を確認できた。一日に約2,000食作られる給食も、メニューによって残食量が変わるとのことで、栄養バランスや旬の食材、味のバランスなどに大変苦労されているようだ。試食した給食は中学校同等で一食当たり390円で大変おいしく、給食に携わるすべての職員に敬意を表する。